

新文化ホール基本計画再検討に係る市民説明会 《市長説明》

本日は、「新文化ホール基本計画再検討に係る市民説明会」にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本市では、平成31年3月に策定した「文化振興基本方針」において、「文化活動の核となる文化ホールについて、新たな建設も含め検討する」と定め、新文化ホールの整備に係る検討を進めてきました。

令和4年7月には、地域の文化関係者や学識経験者、様々な立場を代表した市民の方々に構成する「福知山市新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会」を設置し、文化関連団体や大学生・高校生へのヒアリング、市民ワークショップやWEBアンケート、パブリックコメント等による市民の皆さんの意見を踏まえて議論を重ねました。

新文化ホールについては、福知山市の魅力を築く文化振興の拠点として、また、市民の文化活動の核となり、市民が「幸せを生きる」まちづくりに寄与するための施設とするため、令和4年12月に施設の基本理念や整備の方針等を定めた「福知山市新文化ホール基本構想」を策定し、その後、施設に必要な機能や規模、諸室等の施設構成や建設予定地の選定、管理運営に関する基本的な考え方などを整理し、令和5年7月に「福知山市新文化ホール基本計画」を策定しました。

こうした過程を経て策定した基本計画に沿って、今後の事業運営方法や基本設計について検討を進める中で、新文化ホール基本計画に対し、立ち止まり見直しを求めることについて住民の意思を問うための住民投票条例の制定を求める署名活動が始まり、令和6年3月12日には、8,296名の署名が選挙管理委員会に提出されたところです。また、3月5日には、市議会に対して、市民との対話を継続しながら、現在の計画に沿って事業を進めることを求める請願が出される一方、現在の計画の見直しの賛否を問う住民投票を求める請願が提出されました。

このように市民の意見も分かれている状況にありますが、新文化ホールは市民の皆さんにとって文化振興の拠点として市民生活を豊かにしていくため、整備するものであり、できるだけ多くの市民の皆さんの理解を得ていくことが大切であると考え、「新文化ホール基本計画」を再検討することを発表させていただきました。

その後、市民との対話を継続しながら、現在の計画に沿って事業を進めることを求める請願については可決されましたが、有効数7,700名の署名による住民投票条例の制定を求める直接請求も提出され、本市としては、いずれのご意見についても尊重しながら、新たに再検討委員会を設置し、再検討していきたいと考えております。

その再検討にあたっては、基本構想に定めた「人をつなぐ、活動をつなぐ、時をつなぐ～新たな福知山市の魅力を築く文化振興の拠点～」という基本理念は大切にしつつ、これまで基本構想や基本計画の際にいただいた多くの市民の皆さまのご意見、また今後開催する予定の市民懇談会や地域単位の説明会でのご意見をふまえ、再検討委員会で機能や規模、場所、スケジュールなど基本計画のすべてについてもう一度議論し、見直しを行うこととしています。

本日の説明会では、今後、基本計画の再検討に向けて、新たに再検討委員会を設置し、市民懇談会、地域単位の説明会で市民の皆さんにご意見を伺っていくにあたり、まずは現在の基本計画の内容についてご説明させていただくとともに、今後の再検討の進め方等についてご説明させていただきたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。